



すくすく通信

2023年12月号
子育て世代包括支援センター
子育て支援室



絵本の読み聞かせは、想像力、言葉の理解、集中力を高めるだけでなく、親子の絆を強める効果があります。一方、一生懸命読み聞かせをしようと思っても、0～1歳の赤ちゃんは、絵本をかじったり、破ったり、ページを次々にめくりたがることもあり、『諦めました。』という保護者の声も、聞かれる事があります。今回は、絵本を通したお子さんとのかかわり方のコツをお伝えします。

どうして絵本をかじったりなめちゃうの？どうすればいいの？



おもちゃだと思っているから。

根気よく読み聞かせをすると、繰り返しの中で、絵本を読んでもらう楽しさに気付いていきます。

手先が動かせるようになって、大人の真似をしたいから。

めくりたがる場合は、ページが厚い絵本がおすすめです。破りたがる場合は、一緒に新聞紙を破って遊び、「これは破って良いよ。」と、遊びをすり替えます。



赤ちゃんの口の感覚が、視覚や触覚より発達していて、絵本が何か、確認しているから。

読み聞かせできる時に絵本を出して一緒に読みます。

歯茎がムズムズかゆいから。

「これはかんで良いよ」と、口に入れても問題ない歯固め等にすり替えます。歯が生え始める生後6ヶ月位から歯が生え揃う2歳近くまで続く子もいます。



大人の足の間に挟むと、安定します。



ママの指さしや言葉添えが、発語につながります。



大人も一緒に楽しみましょう♪

小牧市では、中央図書館、えほん図書館、東部市民センター図書室にて、読み聞かせをしています。日程等詳細は図書館ホームページよりご確認ください。

初めは、無理せず、出入O.K.です。お子さんのペースで参加しましょう。

えほん図書館では、絵本の相談・紹介や、個別で読み聞かせにも対応して頂けます。

